

畜産茨城

第471号

平成30年3月22日



目次

平成29年度茨城県自給飼料コンクール 表彰式が開催されました……	1	第45回茨城県常陸牛枝肉共励会開催！！……	8
「肉用繁殖牛農家のみなさんへ」ヨーネ病対策について…	2	地方競馬 場外発売日程……	9
新たなランドレース種系統豚の造成 ……	3	平成30年1月市況 ……	10
凝集促進材を使用した肥料について、 届出のみで生産・販売できるようになりました ……	5	平成30年1月・2月の鶏卵価格差補てん ……	10
平成29年度全国畜産関係普及指導員調査研究会の紹介 ……	6	平成30年2月市況 ……	11
		新マルキン発動状況……	11
		親子オムライス教室開催される……	12

発行所／茨城県水戸市梅香1丁目2番56号
公益社団法人茨城県畜産協会
電話 029 (231) 7501
URL <http://ibaraki.lin.gr.jp>
発行人／佐 野 治

平成29年度茨城県自給飼料コンクール 表彰式が開催されました



平成30年2月2日（金）、県畜産センターで、平成29年度茨城県自給飼料コンクール表彰式が開催されました。

本コンクールは、自給飼料の効率的な生産及び利用技術並びに放牧等において優秀な事例を選出し、これを広く紹介することにより飼料基盤の重要性を啓発し、県内の自給飼料生産を推進することを目的に開催されました。

本年度は稲WC Sを出品対象としており、合計10点の出品財の中から最優秀賞（県知事賞）、優秀賞（県議会議長賞）、優良賞（畜産協会長賞）がそれぞれ1点ずつ選定されました。

受賞者及び選定内容については、以下のとおりです。

2 pに続く

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています

☆最優秀賞（県知事賞）：柴高水田活用部会 代表 井坂 守

官能評価及び成分分析結果が最も優れており、畜産農家の需要に応じた品種の選定、「たちすずか」と「たちあやか」の組合せによる収穫時期の分散、さらには乳酸菌の添加による品質向上や密苗栽培による省力化及び低コスト化に取り組んでおり、総合的に最も高く評価されました。

☆優秀賞（県議会議長賞）：一般社団法人茨城町農業公社 理事長 小林 宣夫

官能評価及び成分分析結果が優れており、クラスター協議会を設立し機械投資を行い、地域の稲WCS生産、流通拡大に取り組んでおり、さらに普及センターとの連携による乾田直播や湛水直播の取組みが高く評価されました。

☆優良賞（畜産協会長賞）：農事組合法人島宮農生産組合 代表 齋藤 政雄

官能評価及び成分分析結果が優れており、栽培面積の拡大、設備投資や担い手育成にも積極的に取り組んでいることが高く評価されました。

「肉用繁殖牛農家のみなさんへ」

ヨーネ病対策について

茨城県県南家畜保健衛生所

昨年12月、管内の繁殖和牛農家においてヨーネ病が発生しました。

本県では、これまで乳用牛を対象に家畜伝染病予防法第5条に基づくヨーネ病の定期検査を行っていましたが、平成27年度からは肉用繁殖牛についても同様に検査を開始しました。

検査の結果、患畜が摘発された農場については、当該牛を淘汰するとともに農場の清浄性が確認されるまで抗体検査と糞便検査を併用したプログラムを実施します。

主要な感染経路としてはヨーネ菌に汚染された餌、水、牧草等を経口摂取することが挙げられます。ヨーネ病の発生予防やまん延防止のためには牛舎環境を清潔に保つことが重要で、こまめな牛床の除糞や消毒を行うとともに、踏込

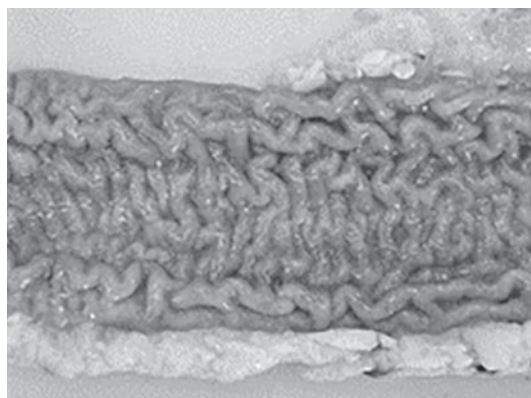
消毒槽を設置するなど牛舎の衛生的な管理を心掛けてください。また、子牛に初乳を与えて直ぐに分離して飼育する酪農とは違い、肉用繁殖牛農家ではしばらくの間、離乳をせずに母牛と同居させて子牛を育てるため、母牛がヨーネ病だった場合、子牛の感染リスクは高くなる傾向にあります。難治性の下痢が見られたら、臨床獣医師か家畜保健衛生所に相談してください。



① 発症牛（著しい消瘦）



② 発症牛（難治性の下痢）



③ 感染牛の腸管

＜病気の概要＞

ヨーネ病は、ヨーネ菌の感染によって起こるウシ、ヤギ、ヒツジ等の反芻獣の慢性消化器感染症です。長い潜伏期間（半年～数年）の後、持続性の下痢、栄養状態の悪化により消瘦等を起こし、やがて死に至ります。

感染牛は症状の有無に関わらず、糞便中にヨーネ菌を排菌することがあります。

子牛への主要な伝播経路としては乳汁感染や子宮感染が考えられており、特に6ヶ月齢以下の子牛が感染した場合には将来発症する可能性が高いとされています。

新たなランドレース種系統豚の造成

茨城県畜産センター養豚研究所

1. はじめに

本県の多くの養豚農家は三元交雑豚を肉豚として肥育するため、雄系と雌系品種の両面からの育種改良が必要とされています。

これまでに養豚研究所ではランドレース種3系統、大ヨークシャー種2系統を造成し、本県を代表する銘柄豚肉「ローズポーク」をはじめとした、高品質豚肉生産の基礎豚として県内で広く活用されてきました。また、デュロック種については、H28年度に筋肉内脂肪含量が高く肉質改善効果が期待できる系統豚「ローズD-1」の造成が完了し、現在、供給を行っているところです。



図 現在活躍中の「ローズL-3」

系統豚は高い能力を均一に持っている血縁集団です。本県で造成したランドレース種系統豚「ローズL-3」(図)は、平均産子数 12.4頭、

1日平均増体重910.4g、背脂肪厚1.65cmといった特徴を持っています。しかし、系統豚は外部から導入を行わない閉鎖群で維持するため、年々集団の血が濃くなります。また、養豚農家

のニーズは時代や地域によって変わるため、それに応じた新しい系統豚の造成が必要とされています。

2. ランドレース種系統豚の研究動向

各県で造成したランドレース系統豚は「ローズL-3」を含めて、現在、全国に9系統あります。また、(独)家畜改良センター茨城牧場では、外部導入を行いながら改良を進める開放型育種手法が実施されています。

各県で造成されたランドレース種の改良形質は、最も重要な項目である産子数以外は、県で独自に設定されており、それぞれの系統を特徴付けています。主な改良形質は、離乳頭数、3週齢1腹総体重、1日平均増体重、飼料要求率等です。

雌系品種であるランドレース種の改良目標は、繁殖形質で設定されることが多い一方で、繁殖形質は従来の選抜方法では遺伝率が低い問題を抱えています。(国研)農業・食品産業技術総合研究機構では遺伝子分析によるゲノミック選抜法の研究がおこなわれています。この方法は、遺伝情報を活用して選抜を行うため、従来の選抜法よりも正確に遺伝的能力を評価することが可能です。そのため、遺伝率の低い繁殖形質や、正確な測定が困難な飼料効率などの選抜に有効です。

3. 新系統豚の造成試験

本県では「ローズL-3」の後継豚となる新系統豚の造成試験を今年度から開始しました(表)。

現在、改良目標を設定するための調査を行っており、それを元に改良形質の検討を進めています。H30年度からは改良目標にそった基礎豚を外部から導入し、H36年度に新系統豚が完成する計画となっています。

当研究所では、近年の農家ニーズに応えるため、先端技術を活用しながら系統造成を進めることを検討しています。そして、能力の高い系統豚を安定的に供給することにより、本県の養豚生産基盤強化を図っていきたいと考えています。

項 目	H29	H30～31	H32～36
改良目標の設定	●		
基礎豚(精液)導入		←→	
系 統 造 成			←→

表 ランドレース種系統造成の研究計画

改正

平成29年11月15日に改正されました！

**凝集促進材（※）を使用した肥料について、
届出のみで生産・販売できるようになりました**

茨城県県西農林事務所 振興・環境室農業振興課

- これまで、動物の排せつ物の処理に凝集促進材を使用したものを原料とする肥料を生産・販売するためには、「し尿汚泥肥料」や「汚泥発酵肥料」等の普通肥料として農林水産大臣の登録を受けることが必要でした。
- このたび、**指定された凝集促進材（※）**を動物の排せつ物の処理に使用したものを原料とする肥料については、「堆肥」等の特殊肥料として都道府県知事への届出のみで生産・販売できるようになりました。

これまで

動物の排せつ物

+

凝集促進材

を原料とする
もの

「し尿汚泥肥料」
「汚泥発酵肥料」
「焼成汚泥肥料」

普通肥料

（農林水産大臣の登録）

改正後

動物の排せつ物

+

凝集促進材

（指定されたもの（※））

を原料とする
もの

「動物の排せつ物」
「堆肥」
「動物の排せつ物の燃焼灰」

特殊肥料

（都道府県知事への届出）

**（※） 指定された
凝集促進材**

ポリアクリルアミド系高分子凝集促進材
ポリアクリル酸ナトリウム系高分子凝集促進材
ポリアクリル酸エステル系高分子凝集促進材
ポリメタクリル酸エステル系高分子凝集促進材
ポリアミジン系高分子凝集促進材
アルミニウム系無機凝集促進材
鉄系無機凝集促進材

平成29年度 全国畜産関係普及指導員調査研究会の紹介

茨城県農業総合センター 専門技術指導員 津 田 和 之

全国畜産関係普及指導員調査研究会が去る11月16日、17日の2日間につくば市と稲敷市で開催されましたので、その内容を紹介します。

この研究会は、関東東海北陸地域畜産関係普及指導員連絡協議会と（一社）日本草地畜産種子協会の主催により、畜産関係普及指導員の指導力向上を目的に毎年開催されており、今年で13回目となります。

1 調査研究発表

1日目は、つくば市の筑波産学連携支援センターにおいて、畜産関係の普及指導における調査研究について、8都県から事例発表を行いました。（表）

表 8都県からの事例発表課題名

発表 番号	題 名	発表県
1	畜産農家に対する自給飼料安定供給の取り組み	茨 城 県
2	代謝プロファイルテスト等を活用した乳用牛群の飼養管理の改善	栃 木 県
3	飼料用トウモロコシにおける二期作技術の確立	群 馬 県
4	地域で連携した粳米サイレージの生産・利用の取組	千 葉 県
5	トタン屋根畜舎の防暑対策2つの試み	東 京 都
6	ATP検査による搾乳機器の衛生状態の見える化	神 奈 川 県
7	飼料給与改善による繁殖和牛の生産性向上	岐 阜 県
8	養牛農家を支援する繁殖管理システムの開発	香 川 県

発表事例は、自給粗飼料関係、乳牛飼養管理改善、繁殖和牛の繁殖管理関係、養豚の暑熱対策など国内各地域で取り組んでいる調査研究であったことから、参加者からは熱心な質疑応答がなされて、現地で実践する上での課題などの議論が深まりました。

その後、参加者は5つの分科会（酪農、和牛関係、自給飼料、畜産環境対策、GAP・HACCP）に分かれて、全員が各自の調査研究内容を報告しました。最後に分科会ごと報告内容を代表者が発表して、各県で行われている畜産関係の調査研究内容への理解を深めました。

夕方からは参加者の交流会がつくば市内で開催され、活発な意見交換が行われました。



2 現地視察研修

2日目は、稲敷市の新利根農学塾農場（上野牧場）を視察しました。この牧場は、乳牛の放牧による飼養管理に力を入れて、乳牛の長命連産を実現しているのが、特徴でした。

乳牛の放牧については、経費が削減できて手取りが増えるとの考え方で農研機構の研究者の指導のもと、牛舎に近い草地で実践されていました。

また、この牧場は日本草地畜産種子協会から、放牧認証を受けていました。ほかに国産子実トウモロコシを乳牛に給与するなど国産飼料の利用にも力を入れていました。

参加者からは、放牧場の管理やメリット、放牧した時の乳牛の様子などを熱心に経営主に質問するなど突っ込んだ議論が行われていました。国産子実トウモロコシについても給与方法などに関心が高い様子でした。



第45回 茨城県常陸牛枝肉共励会開催!!

堂々! 平均販売金額144万円超える

— 常陸牛の日に華を添える —

茨城県常陸牛振興協会 事務局長 谷 口 勇



岩佐選手 (左) と宇都木孝浩 (右) 氏

常陸牛振興協会主催の第45回茨城県常陸牛枝肉共励会を3月5日～7日の3日間、東京都中央卸売市場食肉市場において開催しました。出品頭数は79頭（雌8頭・去勢71頭）で、どの出品牛も高品質で入賞が狙える牛ばかりでした。

3月5日（月）に県内各地から東京食肉市場に持ち込まれた出品牛の生体時平均体重は、雌748kg、去勢845kg、全体で835kgとなり重量感のある出品牛が出揃いました。

また、今年も出品者が名誉賞と最優秀賞を生体で予想し、投票しましたが、皆一様に、「特定の2頭に絞りきれない、目移りしてしまう」との感想が聞かれました。

さらに6日（火）には、品川大飯店を会場に仲卸商、東京食肉市場、生産者、県、生産者団体等関係者43名が出席した前夜祭が開かれ、川津会長が日頃の御礼と取組み状況を報告し、翌日の枝肉共励会での購買をお願いしました。

また、来賓の県畜産課根本課長からは「首都圏での高級デパートとの取引が始まりこれを足掛かりに、さらなるブランド力向上に努め、県としても支援していきたい」との力強いあいさつをいただきました。次に、仲卸商を代表して(株)コシヅカ代表の腰塚社長からは、「安定した数量と品質の常陸牛を供給していただいていることに感謝するとともに明日の枝肉共励会ではぜひとも積極的に購売していきたい」との言葉をいただき、盛大な拍手に包まれました。

さらにサプライズとしてIBFスーパーバンタム級チャンピオンの岩佐亮佑選手が橋本畜産(株)社長の紹介で、激励のためチャンピオンベルトを持参し登場しました。好青年の岩佐選手には、翌日のセリや褒賞式に参加していただける事になり、会場は歓声に包まれました。

その後、斉藤県畜連会長の乾杯の発声で懇親会に入り、岩佐選手には記念写真撮影やサインに気軽に対応していただき、会場は大いに盛り上がりました。

中締めの前には、各生産団体の若手職員が明日のセリで高値が出る様、勢いをつけるために行う恒例のかけ声“ワッショイ”コールの練習をしたい、との申し出があり、東京食肉市場大塚常務の手セリの中で、全員が参加して力強いワッショイのかけ声が会場内に響きわたりました。

そして迎えました7日（水）の共励会本番では、早朝から木村安之委員長ほか4名による審査が行われ、入賞牛12点を選んでいただきま

した。甲乙つけがたい牛の中から、名誉賞には古河市の宇都木孝浩氏の「弥英福」に決定しました。枝肉重量512kg, ロース芯面積91cm², BMS12で常陸牛にふさわしい立派な牛でセリでは競り合いの末、芝浦畜産(株)が3,558円の高値でご購入下さいました。また、東京食肉市場から、3,500円超えの金メダルが贈呈されました。

続いて、最優秀賞には高萩市の(株)小堀畜産の「鎌田3436」が選ばれ、(株)コシヅカが3,304円の高値でご購入下さいました。需要がやや停滞気味の中、仲卸商の全員が参加して下さい、大いに場を盛り上げていただき、感謝に堪えません。

若手によるワッショイコールにも、一層の力が入り、その効果か？名誉賞から優秀賞までの5頭については、3,000円台の高値で次々落札され、これには受賞者をはじめ関係者の笑顔がはじけておりました。

入賞牛12頭の枝肉平均単価は3,097円/kg, 平均販売金額は172万円と堂々の数字でした。

また、出品牛79頭の枝肉平均重量561kg, 枝肉平均単価は2,573円/kg, 平均販売金額は144万円と昨年に迫る高成績となりました。

本枝肉共励会で入賞されました方々は以下のとおりです。(敬称略)

入 賞 者 一 覧

入賞区分	氏 名	血 統		枝肉重量 (kg)	格付 (BMSNo)	枝肉単価 (円)	購買者
		父	母の父				
名 誉 賞	宇都木 孝浩	第1花国	安 福 久	512	A5 (12)	3,558	芝浦畜産(株)
最 優 秀 賞	(株)小堀畜産	茂 久 桜	安 茂 晴	596	A5 (12)	3,304	(株)コシヅカ
優 秀 賞 1 席	成島 克己	隆 之 国	安 福 久	536	A5 (12)	3,205	橋本畜産(株)
優 秀 賞 2 席	(有)倉持牧場	北国関7	安 福 久	555	A5 (12)	3,351	エスフーズ(株)
優 秀 賞 3 席	茨畜連PF 鉾田牧場	華 春 福	安 福 久	555	A5 (12)	3,177	芝浦畜産(株)
優 良 賞	佐藤 治彦	美津照重	第1花国	559	A5 (12)	2,952	(有)藤井商店
優 良 賞	塚田 浩一	芳 之 国	安 茂 勝	575	A5 (12)	2,765	芝浦畜産(株)
優 良 賞	(有)中島牧場	美 国 桜	北乃大福	538	A5 (11)	2,809	(株)ミヤミート
優 良 賞	海老沢 喜造	美津照重	安 福 久	595	A5 (11)	2,770	芝浦畜産(株)
優 良 賞	(有)加藤牧場	隆 之 国	百 合 茂	534	A5 (11)	3,126	(株)ミヤミート
優 良 賞	宮本 守正	美津百合	安 福 久	581	A5 (12)	3,100	エスフーズ(株)
優 良 賞	(有)高萩畜産	美 国 桜	安 福 久	521	A5 (12)	3,102	(株)コシヅカ

地方競馬 場外発売日程

「オフトひたちなか」TEL: 029-265-5800

※発売日程は、変更になることがあります。

2018年4月

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜 日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
オフトひたちなか				川 崎						船 橋							大 井							浦 和						大井船橋

○クラウンカップ

○マリーンカップ

○ブリリアントカップ

○しらさぎ賞

2018年5月

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜 日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
オフトひたちなか	大井船橋			船 橋					大 井							川 崎							大 井						浦 和		

○かしわ記念

○羽田杯

○川崎マイラーズ

○大井記念

○さきたま杯

○東京湾カップ

○東京プリンセス賞

平成30年 1 月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
10	一般子豚	12	25,920	25,920	25,920	50
	ベビー豚	284	25,920	22,680	23,894	35
24	一般子豚	10	23,868	23,868	23,868	50
	ベビー豚	268	24,840	19,764	23,433	35

種豚オークション

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	L		W		D		LW	WL
		♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂
12	入場頭数	7	0	0	2	0	14	14	0
	成立頭数	7			0		6	14	
	最高(円)	60,480					89,640	82,080	
	最低(円)	48,600					47,520	54,000	
	平均(円)	54,926					62,820	69,351	

食肉地方卸売市場

株茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日				牛枝肉：毎週月曜日、木曜日			
項目	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)				屠畜頭数	
	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均
豚	12,359.0	79.3	523	502	481	444	390	469
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)
和牛	A 140	170	467.9	2,818	2,453	2,087	1,448	2,449
	B 19			2,576	2,093	1,885	831	
	C 11			—	—	1,242	634	
乳牛	A —	143	322.2	—	—	—	—	412
	B 18			—	—	972	559	
	C 125			—	—	—	464	
交雑牛	A 7	106	509.0	2,000	1,844	1,530	—	1,439
	B 78			—	1,711	1,490	1,167	
	C 21			—	1,418	1,150	832	

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	67	1,030,320	424,440	639,876	280	2,282
		♂	0					
		去計	68	1,108,080	273,240	840,415	311	2,703
	F1	♀	135	1,108,080	273,240	740,888	296	2,505
		経産					—	—
		去計	13	359,640	223,560	330,231	303	1,090
			20	487,080	348,840	433,836	310	1,400
			33	487,080	223,560	393,022	307	1,279

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
16	和牛	♀	43	1,091,880	433,080	729,678	256	2,842
		♂	0					
		去計	40	1,060,560	611,280	843,318	290	2,900
			83	1,091,880	433,080	784,444	273	2,872

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日			5, 9, 15, 19, 25, 29			
畜種	年齢	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	7	277,560	5,400	156,291
		♂	161	186,840	5,400	119,773
		去計	0			
			168	277,560	5,400	121,294
F1	スモール	♀	64	235,440	86,400	176,006
		♂	93	345,600	56,160	257,632
		去計	0			
			157	345,600	56,160	224,358
	子牛	♀	1	378,000	378,000	378,000
		♂	3	280,800	217,080	238,320
		去計	15	491,400	491,400	491,400
			19	491,400	217,080	445,472
黒毛和種	スモール	♀	0			
		♂	1	400,680	400,680	400,680
		去計	0			
			1	400,680	400,680	400,680
	子牛	♀	5	594,000	434,160	477,360
		♂	12	541,080	432,000	472,680
		去計	1	541,080	541,080	541,080
			18	594,000	432,000	477,780
	3歳以上	♀	10	502,200	86,400	198,828
		去計	0			
			10	502,200	86,400	198,828

平成30年 1 月の鶏卵価格差補てん 28.710円

(一社) 日本養鶏協会は2月1日、鶏卵価格差補てん事業の1月の標準取引額が、補てん基準価格の187円を下回る155円10銭となったため、差額の9割に当たる28.710円を補てんすると発表しました。補てんは昨年8月以来となります。

平成30年 2 月の鶏卵価格差補てん 2.034円

(一社) 日本養鶏協会は3月1日、鶏卵価格差補てん事業の2月の標準取引額が、補てん基準価格の187円を下回る184円74銭となったため、差額の9割に当たる2.034円を補てんすると発表しました。1月に続く補てんとなります。

平成30年2月市況

子豚市場

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)
7	一般子豚	0				50
	ベビー豚	170	28,620	25,272	26,375	35
21	一般子豚	11	26,352	26,352	26,352	50
	ベビー豚	228	27,000	3,672	23,463	35

種豚オークション

全農茨城県本部 子豚市場

開催日	区分	L		W		D		LW	WL
		♀	♂	♀	♂	♀	♂	♀	♂
	入場頭数	開催なし							
	成立頭数								
	最高(円)								
	最低(円)								
	平均(円)								

食肉地方卸売市場

株茨城県中央食肉公社

開催日	豚枝肉：日曜、祭日を除く毎日 牛枝肉：毎週月曜日、木曜日									
項目	上場頭数		卸売価格(枝肉1kg当たり単価・円)							屠畜頭数
	頭数	平均重量(kg)	極上	上	中	並	外	平均	豚	牛
豚	11,528.0	80.1	539	490	462	419	375	448	24,103	681.5
牛	頭数	平均重量(kg)	5	4	3	2	1	平均単価(円)		
和牛	A 152	174	489.9	2,745	2,366	1,968	1,516	—	2,436	
	B 22			—	2,180	1,497	1,040	—		
	C —			—	—	—	—	—		
乳牛	A —	143	300.5	—	—	—	—	—	418	
	B 6			—	—	—	555	—		
	C 137			—	—	673	497	359		
交雑牛	A 9	118	508.1	—	1,679	1,524	1,142	—	1,382	
	B 90			—	1,677	1,497	1,125	—		
	C 19			—	1,441	1,199	829	440		

牛市場

全農茨城県本部 家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
14	和牛	♀	70	806,760	160,920	604,923	278	2,176
		♂	0					
		去計	70	1,091,880	82,080	801,329	305	2,629
	F1	♀	140	1,091,880	82,080	703,126	291	2,413
		経産	10	281,880	74,520	174,420	—	—
		去計	11	402,840	297,000	352,375	296	1,192
	F1	♀	24	469,800	395,280	440,640	306	1,439
		去計	35	469,800	297,000	412,899	303	1,364

大子町畜産農業協同組合 大子家畜市場

開催日	畜種	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)	平均体重(kg)	kg当たり単価(円)
	和牛	♀	開催なし					
	牛	♂						

茨城県家畜商業協同組合 茨城県中央家畜市場

開催日			5, 9, 15, 19, 25,			
畜種	年齢	性別	頭数	最高(円)	最低(円)	平均(円)
乳牛	スモール	♀	5	270,000	5,400	160,488
		♂	120	196,560	10,800	143,892
		去計	1	128,520	128,520	128,520
	子牛	♀	126	270,000	5,400	144,429
		♂	0			
		去計	0			
F1	スモール	♀	2	209,520	199,800	204,660
		♂	2	209,520	199,800	204,660
		去計	2			
	子牛	♀	60	261,360	91,800	175,896
		♂	54	302,400	152,280	254,120
		去計	0			
黒毛和種	スモール	♀	114	302,400	91,800	212,949
		♂	1	226,800	226,800	226,800
		去計	2	225,720	216,000	220,860
	子牛	♀	16	480,600	480,600	480,600
		♂	19	480,600	216,000	439,901
		去計	19			
	3歳以上	♀	0			
		♂	1	501,120	501,120	501,120
		去計	0			
	子牛	♀	1	501,120	501,120	501,120
		♂	1	170,640	170,640	170,640
		去計	2	501,120	268,920	385,020
	3歳以上	♀	3	756,000	507,600	590,400
		♂	6	756,000	170,640	451,980
		去計	10	230,040	163,080	198,396
	3歳以上	♀	0			
		去計	10	230,040	163,080	198,396

新マルキン発動状況

期	支払方式	肉専用種	交雑種	乳用種
平成29年12月	確定単価	—	30,000	21,200
平成29年11月	確定単価	—	60,000	23,500
	概算払単価	—	56,000	19,500
平成29年10月	確定単価	—	72,700	35,300
	概算払単価	—	68,700	31,300

(注)

平成26年4月期の補填金交付から、四半期の最終月以外については、補填金を概算払いし、各四半期の最終月に確定単価で精算払いをすることになりました。(配合飼料価格安定制度の見直しによる生産費用算出の関係によるもの。)

また、平成26年4月から消費税抜きで算定されています。

○茨城県において補填金交付額に見合う財源を確保できない場合、補填金単価を減額することがあります。

◎算定基礎の詳しい情報は、(独)農畜産業振興機構HP (<http://www.alic.go.jp>) をご覧ください。

親子オムライス教室開催される



茨城県養鶏協会

日本養鶏協会（協力：茨城県養鶏協会）は、オムライスを親子で作るという体験を通じてたまごの正しい知識、美味しい料理法を学んでいただき、たまごのことをもっと好きになって欲しいという想いで、平成30年1月14日、「親子オムライス教室」を開催しました。

教室には、牛久市、つくばみらい市の親子5組11名が参加しました。講師はテレビでも活躍中のたまごタレント・友加里さんで、簡単で美味しいオムライスの作り方を披露したあと、テーブルをまわって親子のオムライスづくりをサポートしました。子どもたちは参加賞として鶏帽子をもらい大喜びでした。



友加里さんサポート



調理中



参加者



完成したオムライス

県内唯一の食肉地方卸売市場
株式会社 **茨城県中央食肉公社**

代表取締役社長 角 田 芳 夫

〒311-3155 茨城県東茨城郡茨城町大字下土師字高山1975

TEL/029 (292) 6 8 1 1 (代)

FAX/029 (292) 6 8 9 5

H P/ <http://ibaraki-kousha.co.jp/>

市場開催日 { 豚枝肉 (日曜・祭日等を除く毎日)
牛枝肉 (毎週月・木曜日)

わたしたちは人と動物の
「これから」を真剣に考えています



森久保薬品株式会社 茨城事業部

下妻市亀崎4011-1

TEL/0296-43-1661

FAX/0296-43-6509 フリーアクセスFAX/0120-436-509

<http://www.morikubo.co.jp>

<http://www.haccp.jp>



いばらき地鶏

奥久慈 **しゃも**
奥久慈しゃも生産組合

〒319-3523 茨城県久慈郡大子町袋田3723

TEL/0295-72-4250

FAX/0295-72-2944

公益社団法人 茨城県畜産協会

TEL/029(231)7501 FAX/029(222)2032

○当協会に対する意見・要望

Eメール info@ibaraki.lin.gr.jp

○本紙への掲載「催事・各種情報」

Eメール chikusan@ibachiku.com

○ホームページ

<http://ibaraki.lin.gr.jp>